

釧路南ロータリークラブ会報

第28回 例会報告 2019.2.15 通算1757回

・点 鐘 亀岡会長



・誕生 祝

前田 裕治会員 S41.2.19 (53歳)



・ロ-タリ-ソング

「それでこそロータリー」



ソングリーダー 前田会長エレクト

・会 長 換 撈



みなさんこんにちは。本年度第28回例会会長挨拶をさせていただきます。

まづもって2月8日例会の東・南RC合同例会に多くの会員の皆さんにご参加頂き有難うございました。東RCとの合同例会は5～6年ぶりだと思いますが、楽しい親睦がはかられたと思っています。今後も是非、年1回は実施して行きたいですね。

先週は40数年ぶりの寒波が釧路にも襲来しました。

・入 会 記 念 祝

亀岡 孝会員 H24.2.17 (7年目)



普段なんともない住宅、アパートでも凍結が起こり、私の会社でも土曜日は5分おきに電話が鳴り続けおりました。2月中は御面倒でも留守にするときは必ず水落としをしてお出かけ下さい。又、これからは排水管や雨水管の中が日中溶けて、夜凍る現象が起こりますので使い終わった最後に熱いお湯を流すなどしてください。3月に入ると今度はドカ雪に悩ませられるかもしれませんね。

合同例会でもお話させていただいたDVによる10歳少女の死亡は、国内の実態把握にやっと国としての対策が出始めて来ました。それにしても酷い虐待で許される事ではありません。改めてロータリーでも対策を考えて活動して行きたいものです。皆様のご協力をお願いいたします。

以上28回目の例会会長挨拶といたします。ありがとうございました。

・幹事報告



* 釧路東RC様より 2/8の合同例会は皆様に楽しんでいただけたと御礼のお言葉を頂戴しました。ありがとうございます。

- * 2/22の例会は私事で申し訳ございませんが出張のため欠席させていただきます。現在のところ19名の参加連絡を頂いておりますので宜しくお願い致します。
- * 本日、例会後に理事会を開催しますので理事役員の皆さま宜しくお願い致します。

・委員会報告

親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金

亀岡 孝会員 入会記念祝として

前田 裕治会員 誕生祝として

・本日のプログラム

「会員卓話」

担当 クラブ会報委員会 天城秀典副委員長

◆高橋 康成会員





東京オリンピックについて、語る！！



東京オリンピック開会式 参加者を募集！！？



クレイ射撃 決勝戦には参加するとのこと。

◆長井 一広会員



本日の卓話をどういった内容にしようか考えていたときに、先日の亀岡会長の会長挨拶で、「新聞の慶弔欄を見ていて、今年の冬は亡くなっている方が例年より多い気がする」と言われていたのを思い出し、また同時に今日（2月13日）の朝刊の慶弔欄にも多くの方のお名前が載っておりましたので、「人は死ぬときにどういう想いでいるのか」と思い立ち、今日の卓話を「辞世の句・歌」にしようと決めました。ということで、私の気に入っている辞世の句や今回調べて面白かったものを紹介していきます。

○戦国時代あたり

- ・露と落ち 露と消えにし わが身かな 浪速のこと
わ 夢のまた夢 豊臣 秀吉
- ・昔より 主を内海の 野間なれば 報いを待てや
羽柴筑前 織田 信孝
- ・おもひおく 言の葉なくて つひにゆく みちはま
よわじ なるにまかせて 黒田 如水
- ・人生七十 力困希咄 吾這寶劍 祖佛共殺 埒る我得
具足の一太刀 今此時ぞ天に抛 千 利休
- ・討つ人も 討たるる者も 諸共に 如露亦如電
応作如是観 大内 義隆
- ・何を惜しみ 何を恨みん 元よりも この有様に 定
まれる身に 陶 晴賢

- ・友を得て なおぞ嬉しき 桜花 昨日にかはる 今日
のいろ香は 毛利 元就
- ・先に行く あとに残るも 同じこと 連れて行け
ぬを わかれぞと思う 徳川 家康
- ・五月雨は 露か涙か 不如帰 我が名をあげよ 雲の
上まで 足利 義輝
- ・雲りなき 心の月を 先立てて 浮世の闇を 照らし
てぞ行く 伊達 政宗
- ・散りぬべき 時知りてこそ 世の中の 花も花な
れ 人も人なれ 細川 ガラシャ
- ・四十九年 一酔の夢 一期の栄華 一杯の酒
上杉 謙信

○江戸期

- ・盥から 盥へうつる ちんぷんかん 小林 一茶
- ・この世をば どりゃ おいとまに せん香の 煙
とともに 灰左様なら 十返 舎一九
- ・浮世の月 見すごしにけり 末二年 井原 西鶴
- ・東路に 筆をのこして 旅の空 西のみ国の 名とこ
ろを見ん 歌川 広重
- ・人魂で 行く気散じや 夏野原 葛飾 北斎
- ・旅に病んで 夢は枯野を かけめぐる 松尾 芭蕉
- ・西に入る 月を誘い 法を得て 今日ぞ 火宅を の
がれけるかな 春日局
- ・あら楽し 思ひは晴るる 身は捨つる 浮世の月
に かかる雲なし
- ・極楽の 道はひとすぢ 君ともに 阿弥陀をそへ
て 四十八人 大石 内臓助

○幕末期

- ・面白き 事もなき世を 面白く (すみなすものは
心なりけり) 高杉 晋作
 - ・身はたとひ 武蔵の野辺に 朽ちぬとも 留め置
かまし 大和魂 吉田 松陰
 - ・君が為 尽くす心は 水の泡 消えにし後ぞ 澄
み渡るべき 岡田 以蔵
 - ・鉾とりて 月見るごとに おもふ哉 あすはかば
ねの 上に照かと 土方 歳三
 - ・動かねば 闇にへだつや 花と水 沖田 総司
 - ・腹いたや 苦しき中に 明けがらす 山岡 鉄舟
- 最後の勝海舟の最後の言葉をお借りいたしまして、

「これでおしまい」



例会場風景



・次回のプログラム

2月22日(金)

「ゲスト講話」

会場 アクア・ベール 12:30～

担当：広報メディア委員会

・点 鐘 亀岡会長

今週の会報担当：木内治彦会員